

認知症対応型通所介護けやき庵
運営推進会議



平成28年 9月 5日 (月) 13:30 ~ 14:30



社会福祉法人真誠会

第1回 認知症通所介護けやき庵運営推進会議

1. 日 時 平成 28 年 9 月 5 日 (月) 13:30 ~ 14:30

2. 会 場 セントラルレジデンス 1階レストラン

3. 出 席

ご家族代表	奥田 静野
ご家族代表	徳本 真佐子
福米地区連合自治会長	堀 純壽
福米地区民生児童委員	安食 修
上谷3区自治会長	門脇 和夫
ふれあいの里地域包括支援センター	高砂 裕子
米子市長寿社会課	戸崎 聡

真誠会

社会福祉法人真誠会常務理事	小田 蓉子
社会福祉法人真誠会事業本部長	上村 真澄
社会福祉法人看護介護統括部長	俵 智恵美
社会福祉法人真誠会総務課長	前田 浩寿
社会福祉法人真誠会地域担当課長	金田 直己
認知症対応型通所介護けやき庵管理者	道祖 正紀

4. 議 題

- ・利用状況及び稼働報告
- ・介護予防と認知症予防
- ・意見交換
- ・その他 米子中央ホスピタウンの現状

「活動状況の報告」

- 1.事業所の運営方針や特色
- 2.運営状況(日々の活動、利用者の様子、利用者数、平均介護度の推移など)
- 3.自己評価、自己点検結果、それを受けての改善措置
- 4.人員体制、人事異勤に関する事
- 5.苦情、事故、ヒヤリハット事例及びその対応や再発防止策などの取り組み
- 6.事業所において実施した行事、その活動についての状況
- 7.地域の住民やボランティア団体等との連携・協力状況
- 8.地域において開催された行事や活動への参加・協力状況
- 9.非常災害時における消防団や地域住民との連携の為の取り組み状況
- 10.前回会議における要望や助言に対する対応(改善)状況
- 11.前回会議において見出された課題、問題点等に対する対応(改善)について

【その他の会議のテーマ】

- ・地域との交流を深めるための取り組みについて
- ・地域での高齢者を取り巻く環境、課題及びその対応(改善)について

地域の住民の方々の意見を聴き、交流を深め、色々な意見を聞く事により、今まで気付かなかった課題やサービスの質の向上に繋がります。様々な立場の方の視点から意見や助言を得ることで、より一層のサービスの質の向上と事業所運営の透明性を確保します。

【真誠会理念】

私たちは、愛と謙虚さを基に、誠実で心に響く医療福祉を提供し、地域の皆様とともに歩み、安心して暮らせる街づくりに貢献します。

【基本方針】

1. 利用者様・患者様の権利を尊重し、尊厳を守ります。
2. 利用者様・患者様の安心安全と、また心・魂に響く医療・看護・介護を提供します。
3. 個人情報保護に努め、さらに施設サービスに関する情報を公開し、常に進化し続ける施設を目指します。
4. 地域・他の医療機関・福祉施設との連携を密にして、信頼を得られる施設づくりに努めます。
5. 充実した職員教育を行うとともに、また積極的に、自己研鑽に努めます。

医療法人・社会福祉法人真誠会

理事長 小田 貢

【けやき庵の理念】

私たちは、ひとりの人としての尊厳を大切に
し、利用者様の在宅生活の継続の一助となる
よう支援をさせていただきます。

また利用者様と同様に家族様の支援も大切
にします。

【地域密着型の使命】

- 存在が地域の人に認識されている
- 存在が地域の人的心里に受け入れられている
- 地域の人々が普段着で、気軽に立ち寄れる
- 地域の人々がスタッフの顔を知っている
- 地域から頼られ、信頼されている
- 地域の人々がその存在を力強く思っている
- 施設の活動が地域の生活と常にリンク(繋がって)している
- 地域との連絡協議会をもっている

認知症対応型通所介護やき庵の現状

(平成28年 9月 5日現在)

【利用状況】

•総登録数 24名

•曜日別登録数

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
12名	11名	11名	12名	11名	11名	8名

•男女比

男性12名 女性12名

•平均年齢

83.9歳

最小年齢71歳

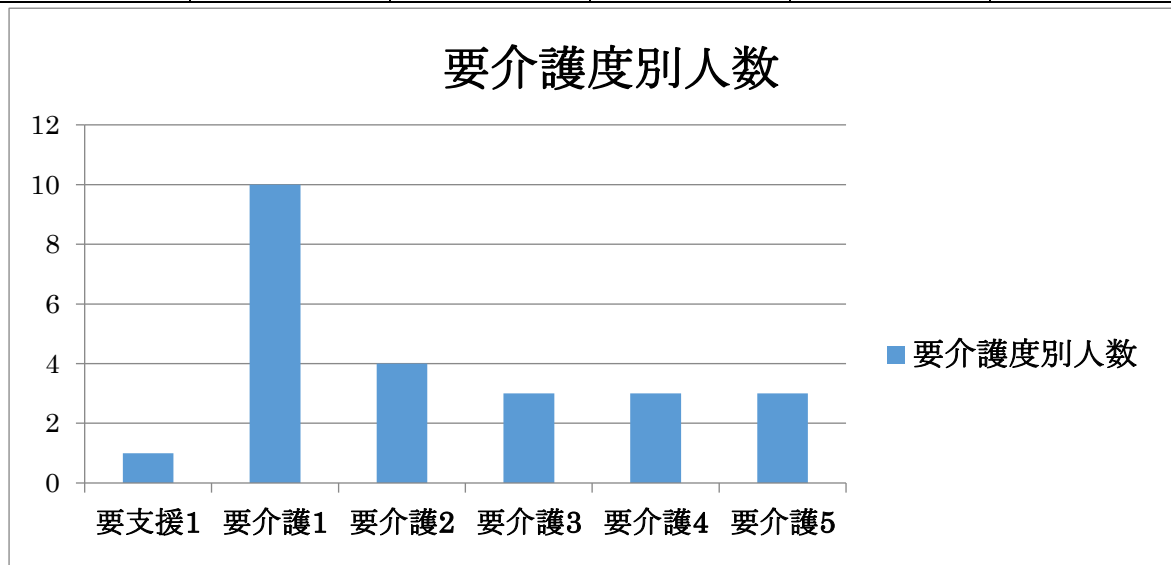
最高年齢96歳

•平均介護度

2.34

•介護度分類

要支援 1	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
1名	10名	4名	3名	3名	3名



自己評価(5段階評価)

存在が地域の人に認識されている	1	2	3	4	5
存在が地域の人的心里に受け入れられている	1	2	3	4	5
地域の人普段着で、気軽に立寄れる	1	2	3	4	5
地域の人スタッフが顔を知っている	1	2	3	4	5
地域から頼られ、信頼されている	1	2	3	4	5
地域の人その存在を力強く思っている	1	2	3	4	5
施設の活動が地域の生活と常にリンク(繋がって)している	1	2	3	4	5
地域との連絡協議会をもっている	1	2	3	4	5

人員体制

管理者 1名
生活相談員 1名
介護職員 3名
看護師 1名
栄養士 1名(非常勤)

けやき庵職員紹介



管理者 道祖 正紀
(介護福祉士)
(認知症ケア専門士)



生活相談員 河合 正子
(社会福祉士)
(認知症ケア専門士)



看護職員
椿 久美子 (看護師)



介護職員
嘉藤 良江 (介護福祉士)



介護職員
柏崎 由美 (介護福祉士)



介護職員
義久 美雪 (初任者研修)

苦情、要望、事故、ヒヤリハット報告事例（対応、再発防止策）

・苦情・要望・ご意見

苦情・要望・ご意見	対応・対策
<p>・利曜日によって送迎時間が違うと本人が混乱するので、送迎時間を統一して欲しい。（7月）</p>	<p>・全体の送迎ルートを変更し、毎回同じ時間に送迎に行けるよう調整を行う。 （混乱される事なく利用されている）</p>
<p>・自宅での排泄介助の事で大変困っている。良い方法があれば教えて欲しい。（8月）</p>	<p>・担当者会議の際に実際に排泄介助、オムツ、パットの当て方のアドバイスをを行い、家族様と一緒に実施する。 （現在、問題なく実施出来ている）</p>
<p>・連絡簿にその日の状況が詳しく記入しており、また写真が貼ってあり、表情や何をしているのかよくわかり安心している。（4月）</p>	<p>・どのような情報をお伝えするのか確認し、今後も継続していく。</p>

・事故・ヒヤリハット報告

事故・ヒヤリハット報告	対応・対策
<p>・利用様がホール内を移動中、他の利用者様の歩行器を持って移動されようとされバランスを崩される。（職員が支える） （5月）</p>	<p>・歩行器を置く場所の統一。 ・動線の確保行う。 ・危険予知について話し合いを行う。</p>
<p>・リハビリホールにて他利用者様がエアロバイクをされている近くに寄って行かれ、話そうとされる。職員は近くで見守りをしていた。エアロバイクの土台の部分に躓き、バランスを崩される。（職員が支える） （7月）</p>	<p>・見守りの継続。介助方法の統一、右耳は聞こえにくいいため、左側より声かけを行う。 ・行動の予測。他利用者様に話しかける事が好きである事。職員間で情報を共有する。</p>

主な行事、交流について(平成28年4月～8月)

平成28年4月

1日 桜見学

15日 オレンジカフェ (認知症予防、タッチパネル、)

20日 卓球、カラオケボランティア (本居 碩夫様)

28日 抹茶会 (稲田 陽子様)

随時開催:誕生会



平成28年5月

3日 調理レクリエーション(焼きそば作り)

4日 社会奉仕事業所まわり清掃

5日 調理レクリエーション(カレー作り)

13日 抹茶会 (稲田 陽子様)

18日 卓球、カラオケボランティア (本居 碩夫様)

19日 オレンジカフェ(認知症予防、タッチパネル)

20日 ZOO 保育園交流会

随時開催:誕生会



平成28年6月

8日、9日 菖蒲湯

10日 抹茶会（稲田 陽子様）

16日 オレンジカフェ(認知症予防、タッチパネル)

20日、21日 ちまき作り

22日 卓球、カラオケボランティア（本居 碩夫様）

随時開催：誕生会



平成28年7月

1日 七夕飾り

4日 折り紙ボランティア（げげげの会、梶川 恵美子様）

8日 抹茶会（稲田 陽子様）

12日～14日 福米中学2年生職場体験

20日 卓球、カラオケボランティア（本居 碩夫様）

21日 オレンジカフェ(認知症と熱中症について、認知症予防)

25日、26日 そうめん流し

随時開催：誕生会



平成28年8月

17日 夏祭り

18日 オレンジカフェ

24日 卓球、カラオケボランティア（本居 碩夫様）

25日 抹茶会（稲田 陽子様）

随時開催：誕生会



地域交流を深めるための取り組みについて

- 公民館祭への参加
- 運動会へ見学
- サロン活動への参加
- オレンジカフェの取り組み

意見交換

地域の高齢者を取り巻く課題、認知症についてご意見、相談事等ありましたら
教えて下さいませ。